

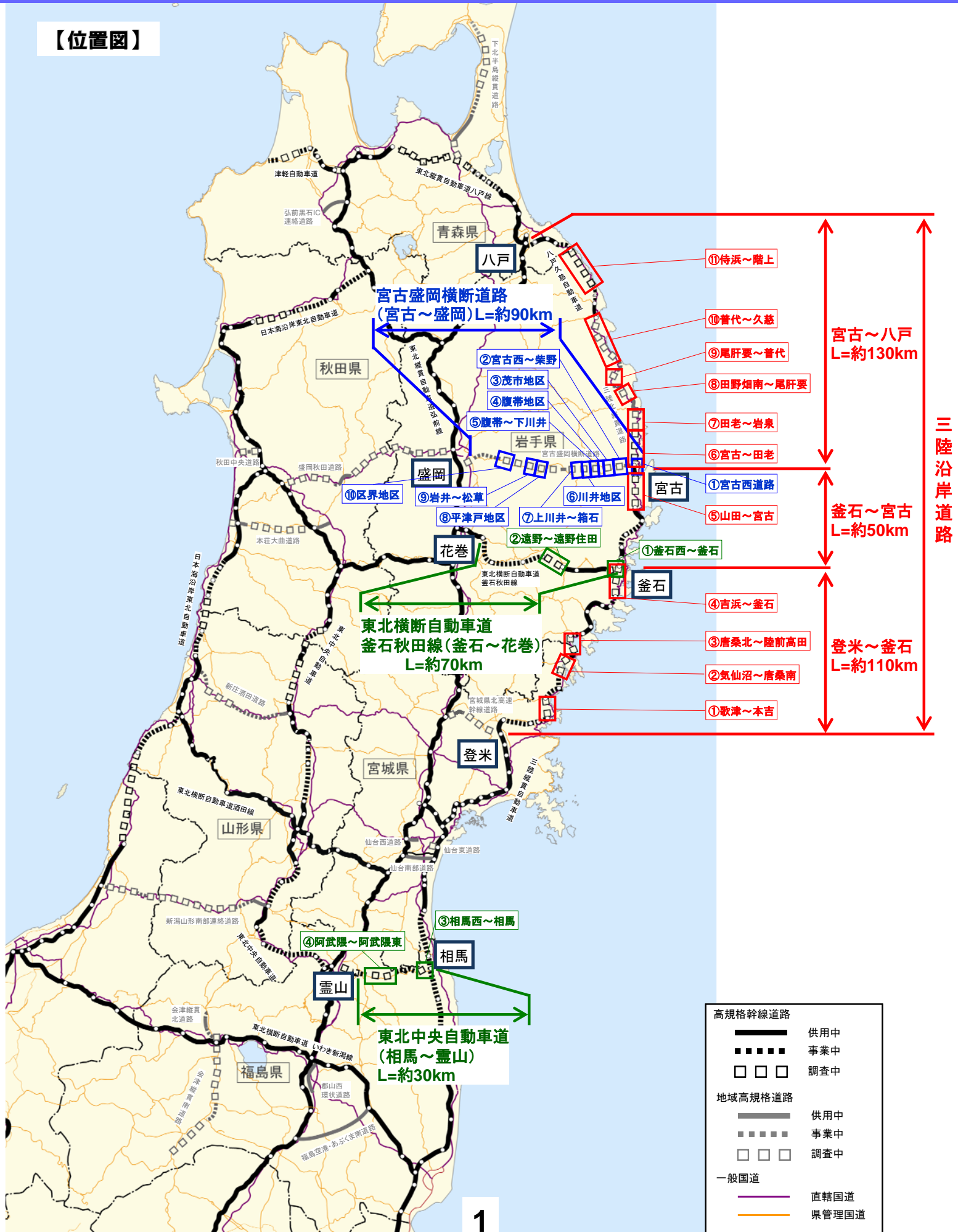
三陸沿岸道路等に関するルート決定 の経緯等について

- | | | |
|------------------------|-----|----|
| 1. 位置図 | ・・・ | 1 |
| 2. ルート決定の経緯について | ・・・ | 2 |
| 3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について | ・・・ | 14 |

平成23年9月21日

1. 位置図

【位置図】

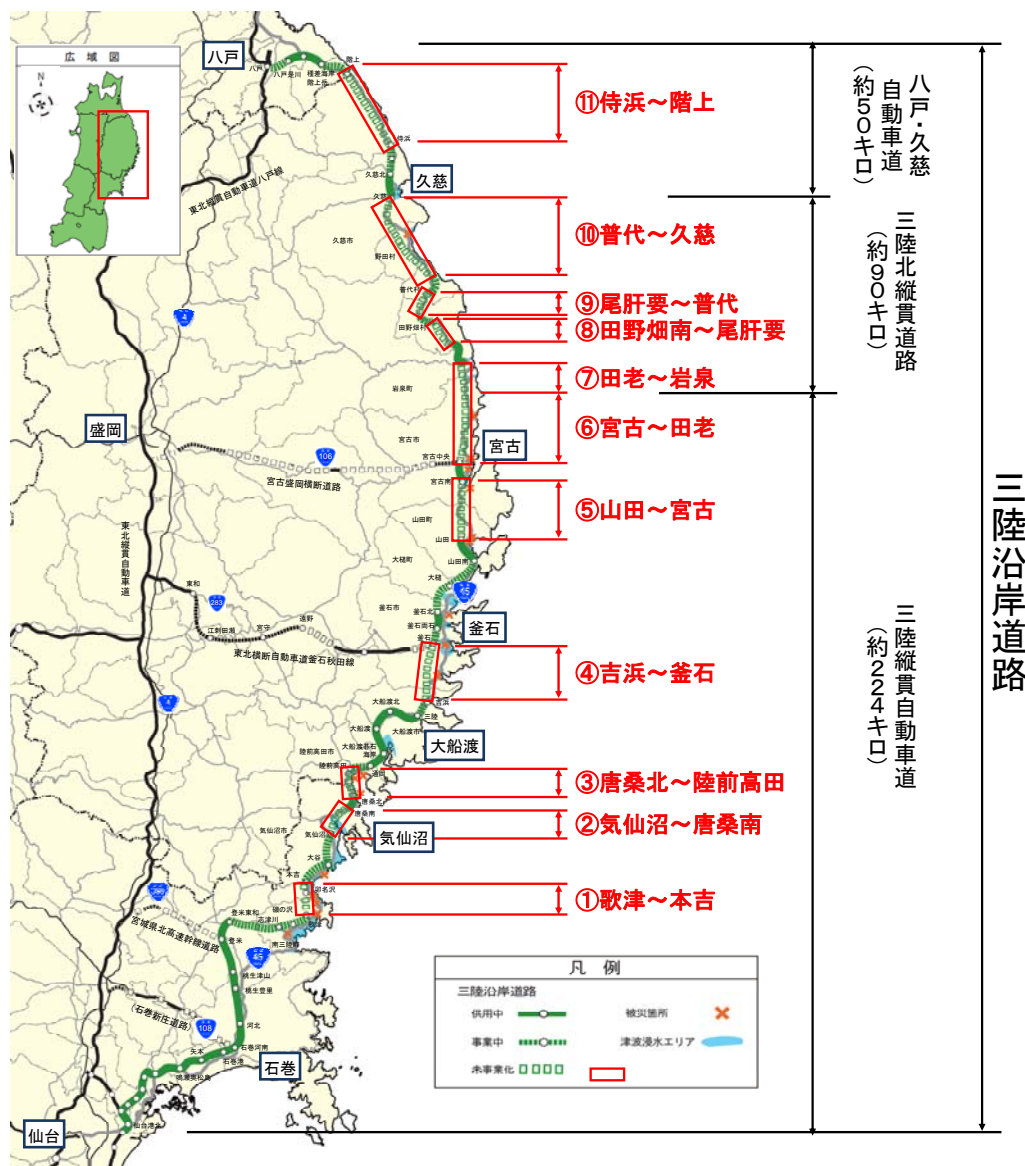


2. ルート決定の経緯について

1. 三陸沿岸道路に関するルート具体化までの状況

- 東日本大震災復興構想会議において、地域活動を支える基盤強化として、三陸縦貫自動車道等緊急整備に関する提言をいただいた
- 三陸沿岸道路の全ての未事業化区間について、早期にルートの具体化を図るため、道路が通る概ねの範囲を公表し、地域の意見を聴きながら概ねのルート及びICを提示し、8月30日にルートを確定

【位置図】



2. ルート決定の経緯について

2. 横断軸(東北横断自動車道釜石秋田線(花巻～釜石間)、東北中央道(福島～相馬間)に関するルート具体化までの状況

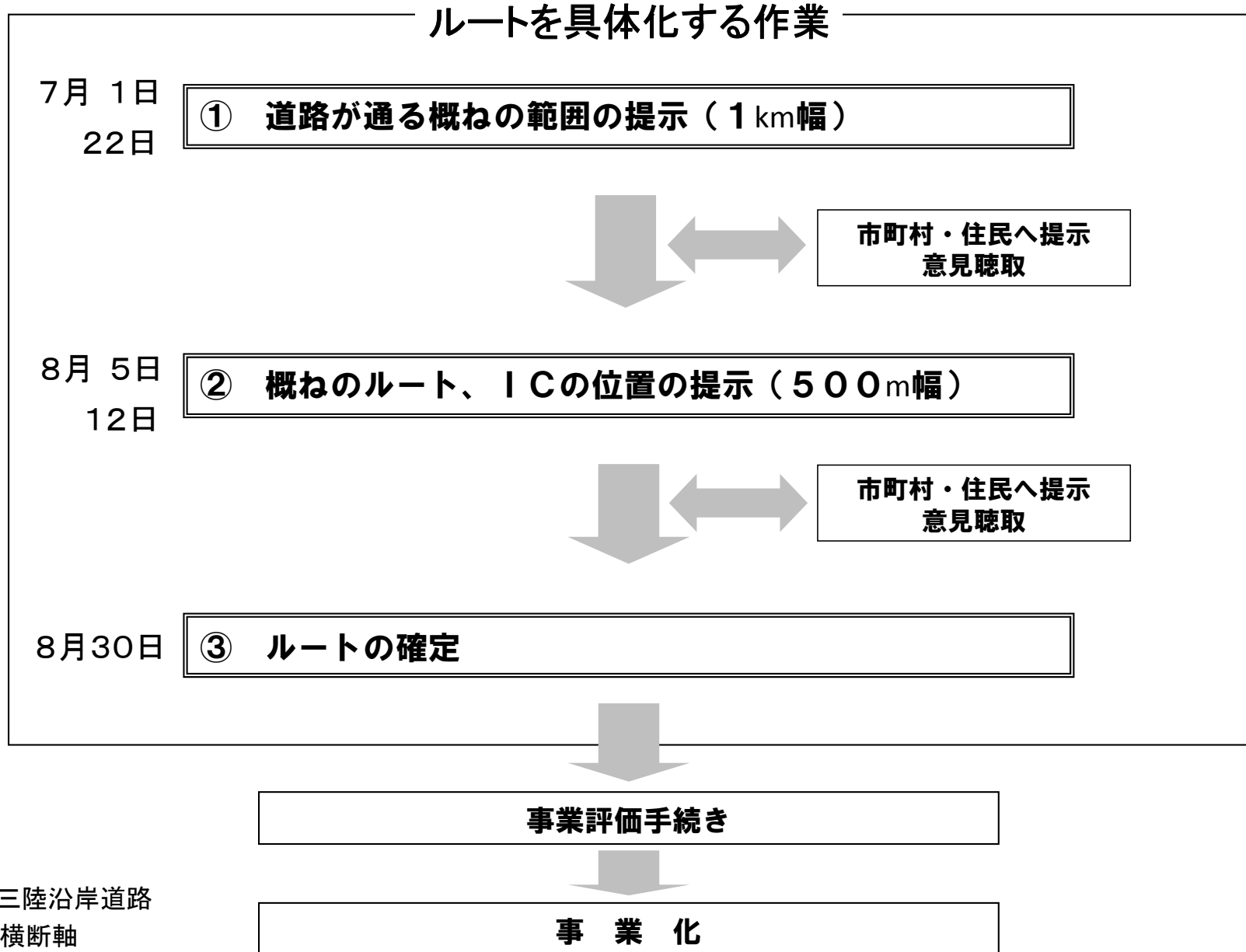
- 東日本大震災復興構想会議において、地域活動を支える基盤強化として、太平洋沿岸と東北道を繋ぐ横断軸の強化について提言をいただいた
- 太平洋沿岸と横断道をつ結ぶ東北横断自動車道釜石秋田線(花巻～釜石間)及び東北中央自動車道(福島～相馬間)の未事業化区間について、早期にルートの具体化を図る作業に入り、8月30日にルートを確定

【位置図】



2. ルート決定の経緯について

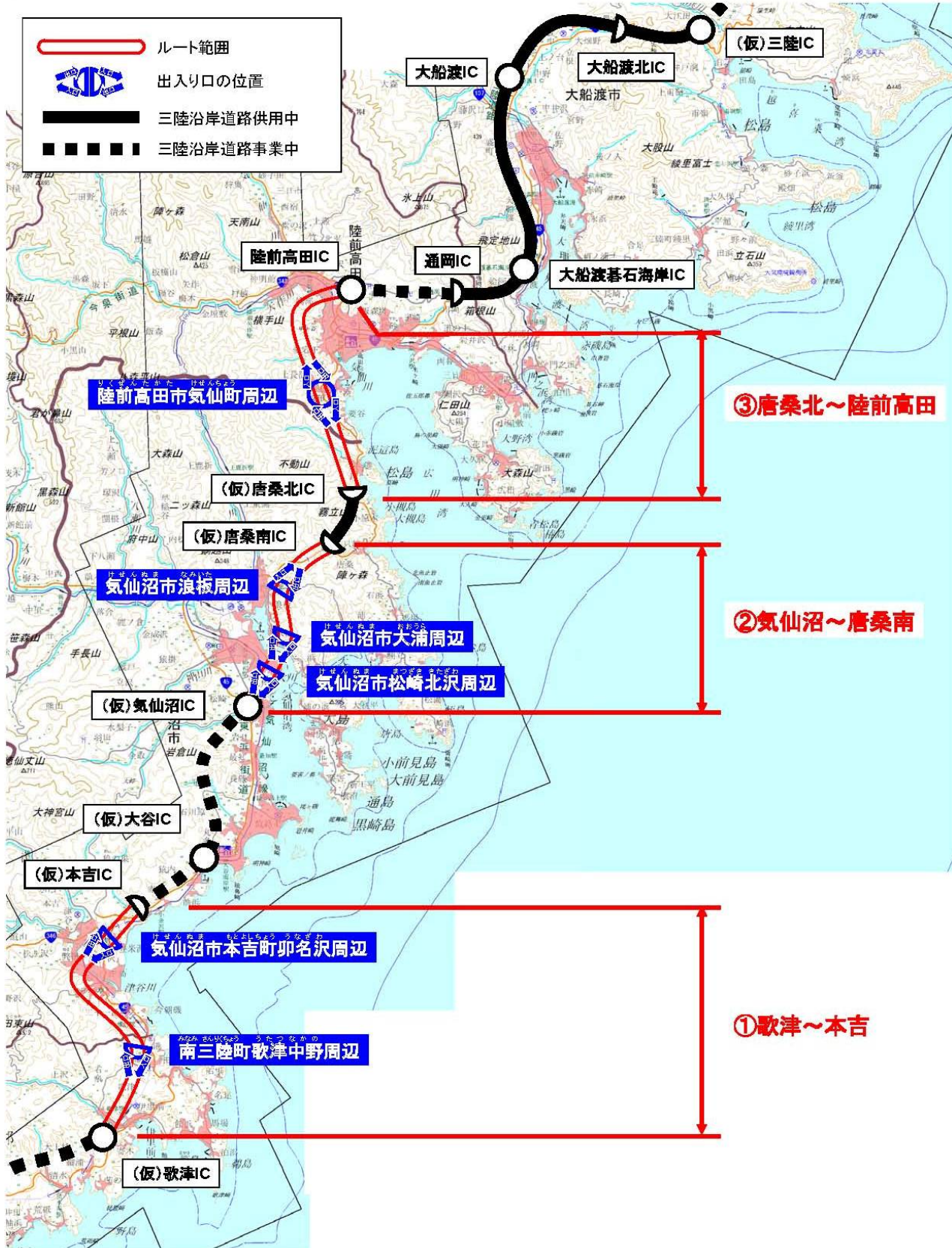
3. ルート公表等の進め方



2. ルート決定の経緯について

4. ルート及び出入り口の位置の決定公表(位置図)

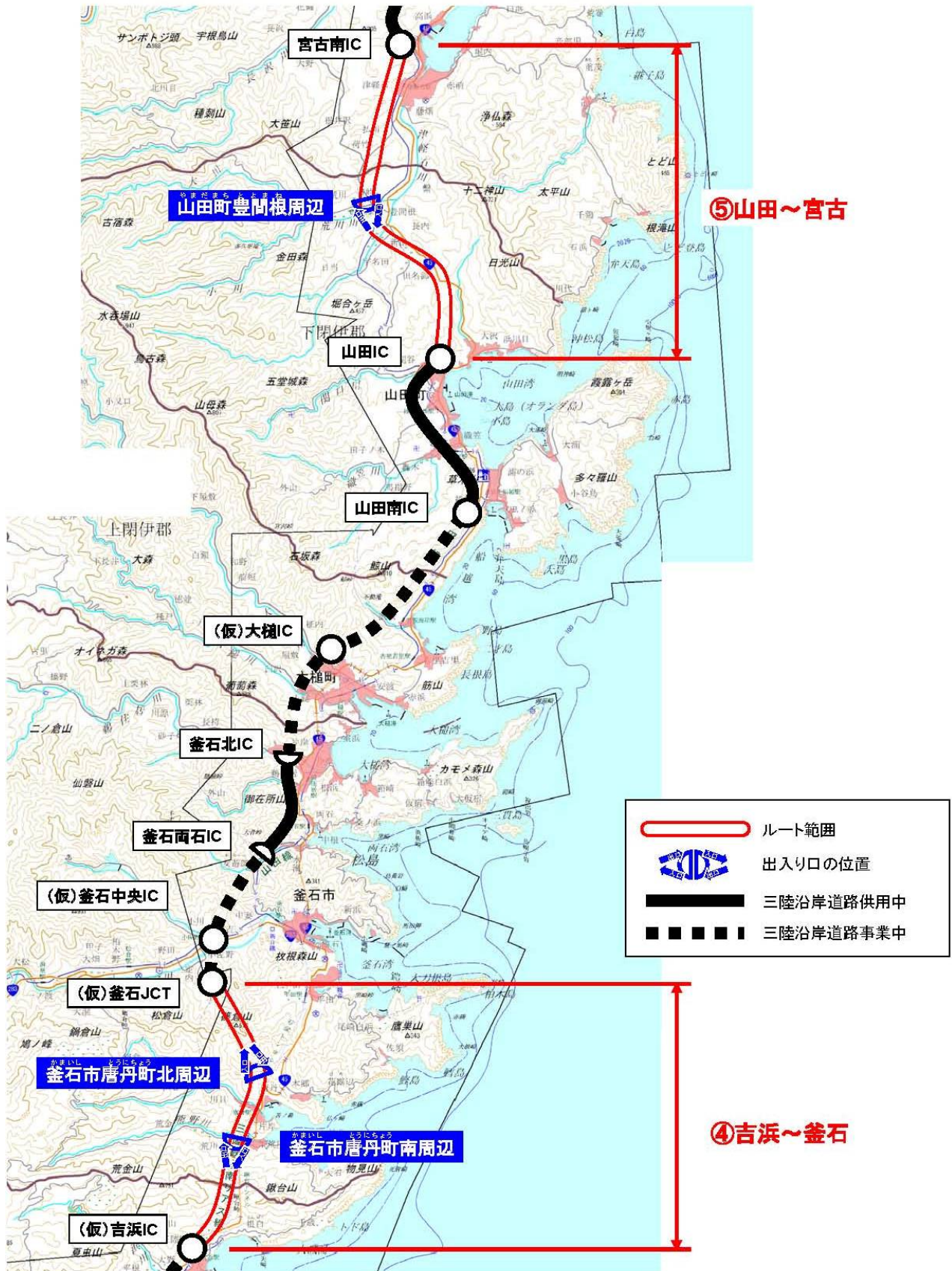
三陸沿岸道路のルート及び出入り口の位置 位置図(1/4)



2. ルート決定の経緯について

4. ルート及び出入り口の位置の決定公表(位置図)

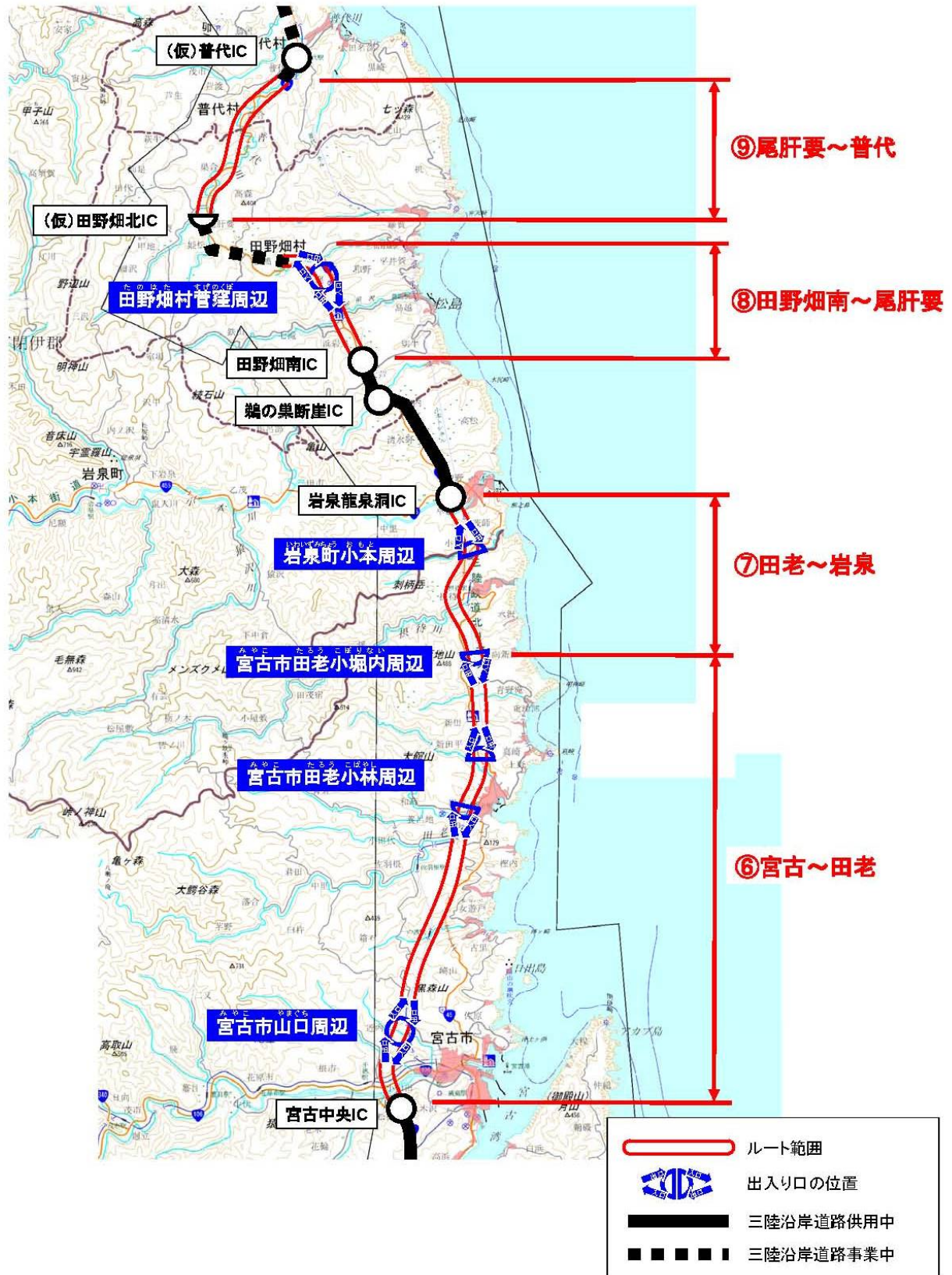
三陸沿岸道路のルート及び出入り口の位置 位置図(2/4)



2. ルート決定の経緯について

4. ルート及び出入り口の位置の決定公表(位置図)

三陸沿岸道路のルート及び出入り口の位置 位置図(3/4)



2. ルート決定の経緯について

4. ルート及び出入り口の位置の決定公表(位置図)

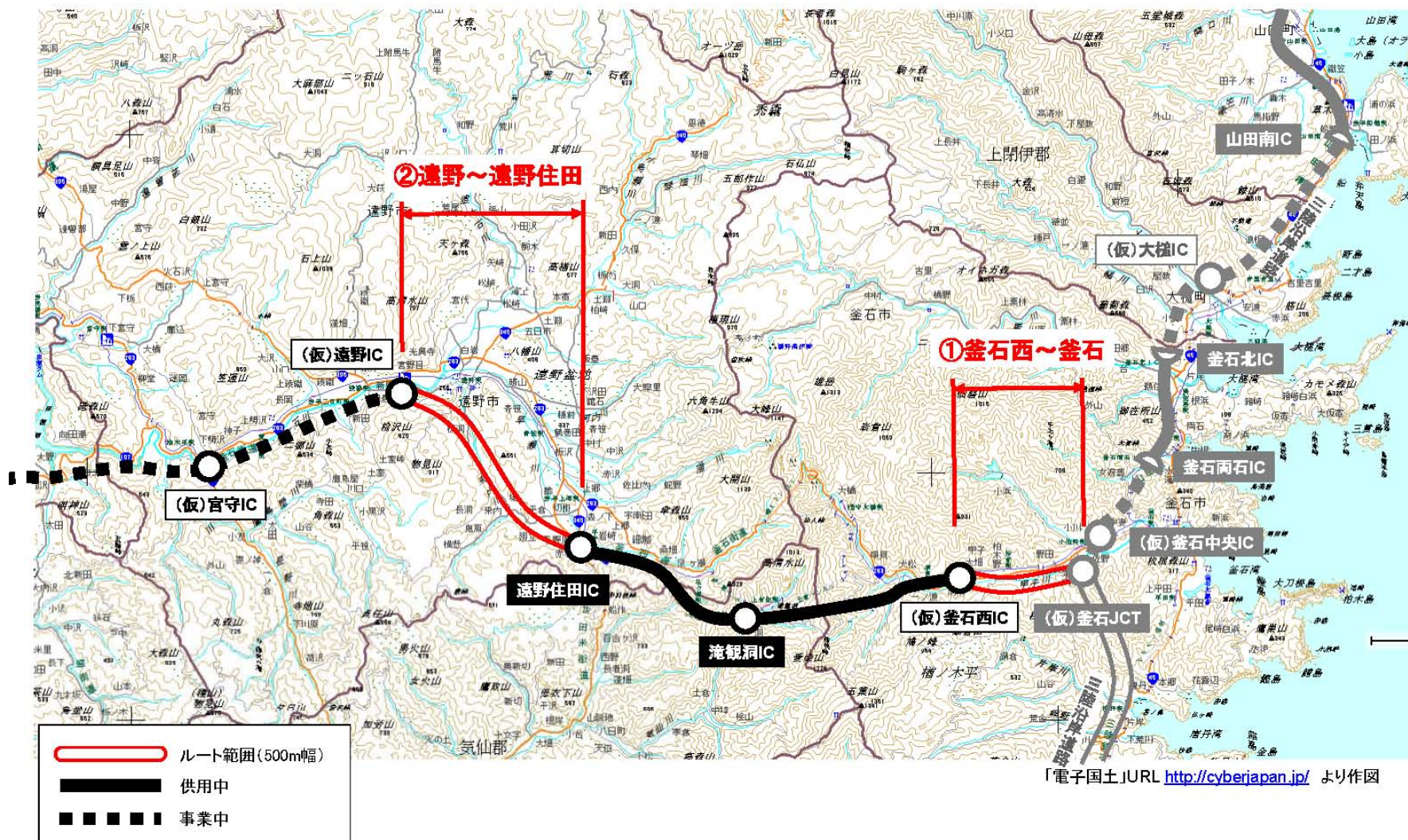
三陸沿岸道路のルート及び出入り口の位置 位置図(4/4)



2. ルート決定の経緯について

4. ルート及び出入口の位置の決定公表(位置図)

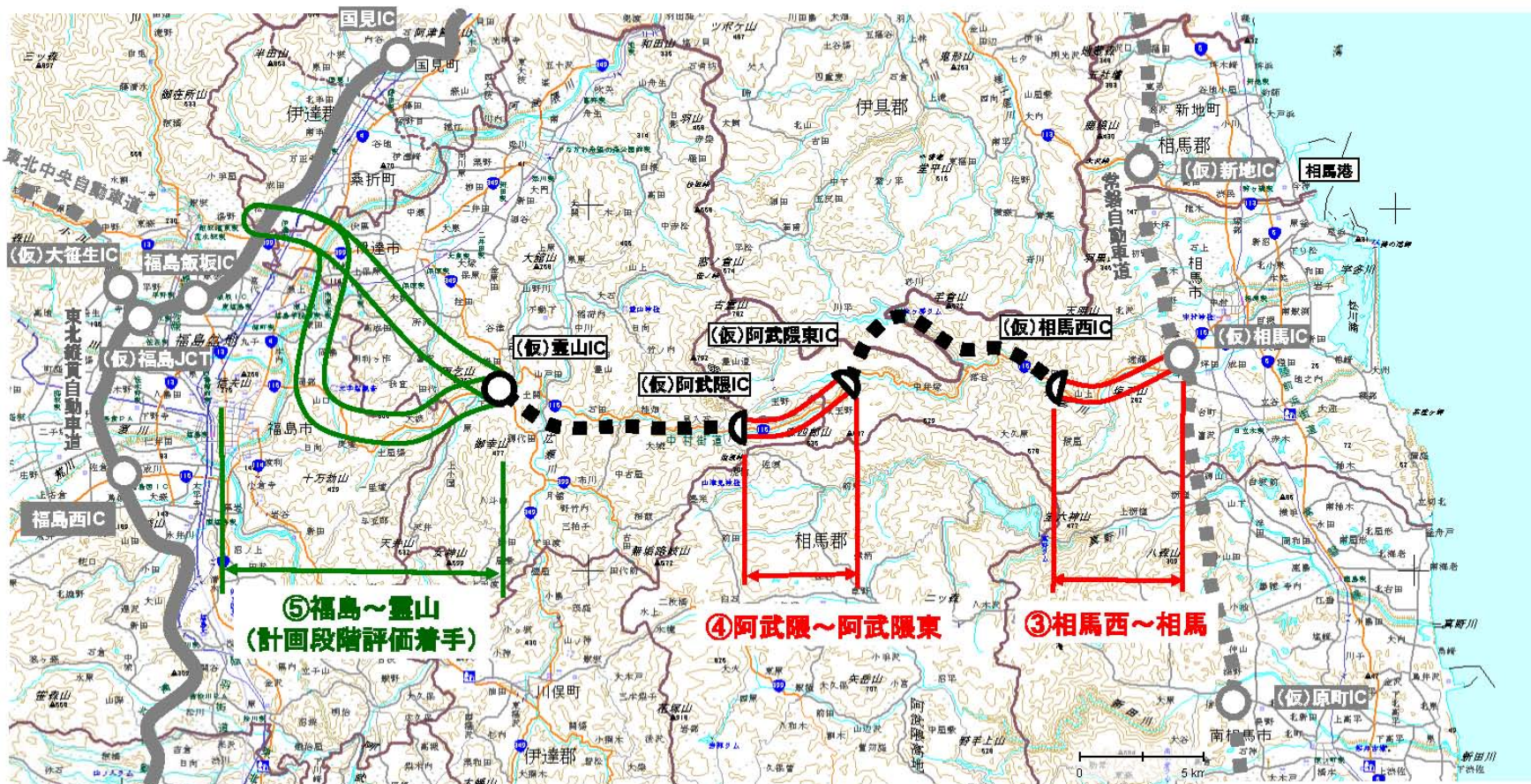
東北横断道釜石秋田線のルート 位置図



2. ルート決定の経緯について

4. ルート及び出入口の位置の決定公表(位置図)

東北中央自動車道のルート 位置図



「電子国土」URL <http://cyberjapan.jp/> より作図

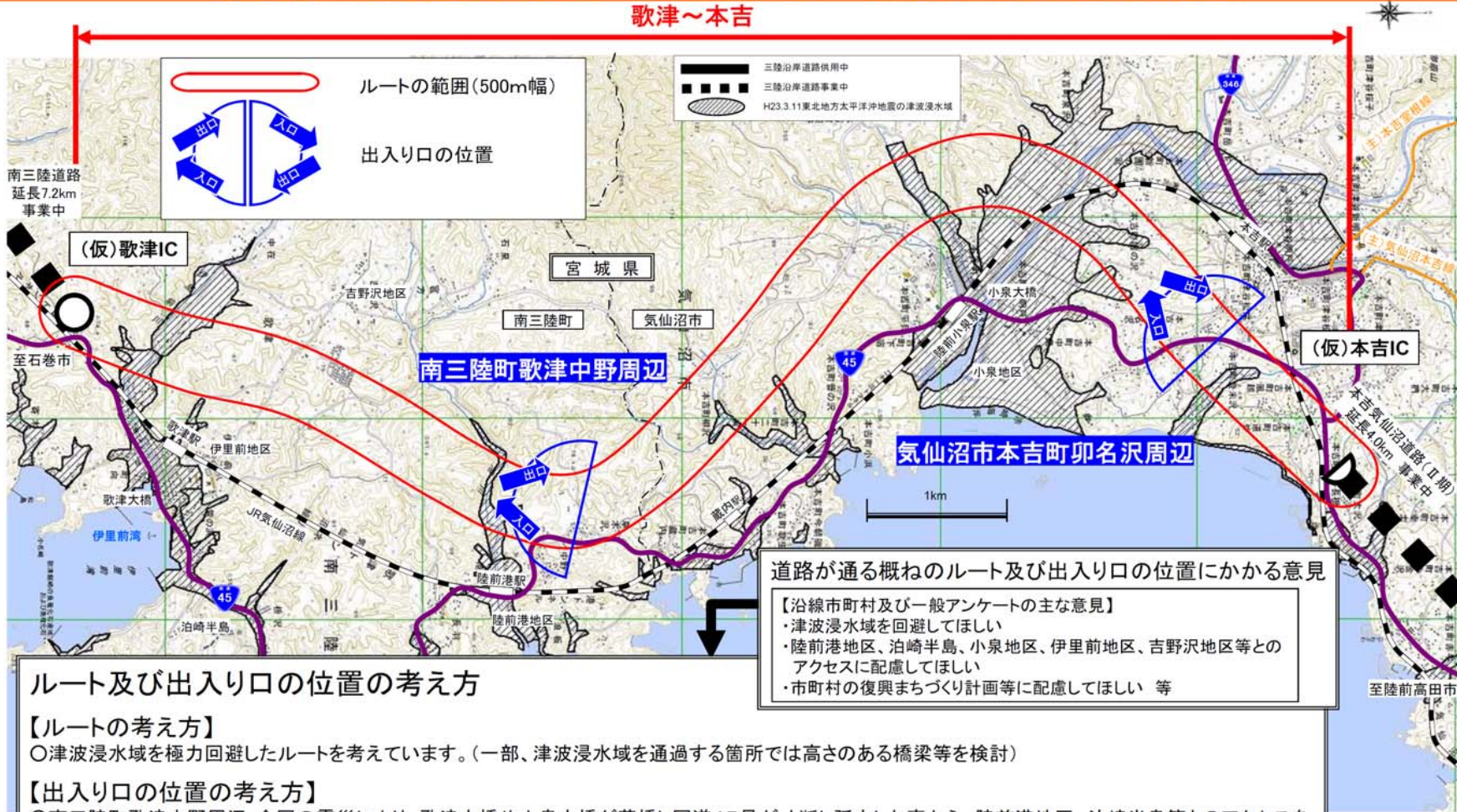


2. ルート決定の経緯について

5. ルート及び出入口の位置の決定公表(500m幅と出入口位置及び出入り可能方向を提示)

①三陸沿岸道路 歌津～本吉間 ルート及び出入口の位置

歌津～本吉



ルート及び出入口の位置の考え方

【ルートの考え方】

○津波浸水域を極力回避したルートを考えています。(一部、津波浸水域を通過する箇所では高さのある橋梁等を検討)

【出入口の位置の考え方】

○南三陸町歌津中野周辺: 今回の震災により、歌津大橋や小泉大橋が落橋し国道45号が寸断し孤立した事から、陸前港地区、泊崎半島等とのアクセスを考慮した位置を考えています。また、コスト縮減や早期整備を図る観点から、現地の交通利用状況等を踏まえ、南方向へのアクセスが可能な出入口を考えています。

○気仙沼市本吉町卯名沢周辺: 小泉地区とのアクセスを考慮した位置を考えています。また、コスト縮減や早期整備を図る観点から、現地の交通利用や(仮)本吉ICとの補完性を考慮し、南方向へのアクセスが可能な出入口を考えています。

※なお、今後詳細な設計を行うにあたり、市町村の復興まちづくり計画等と調整してまいります。

例: ①歌津～本吉間

8月30日公表

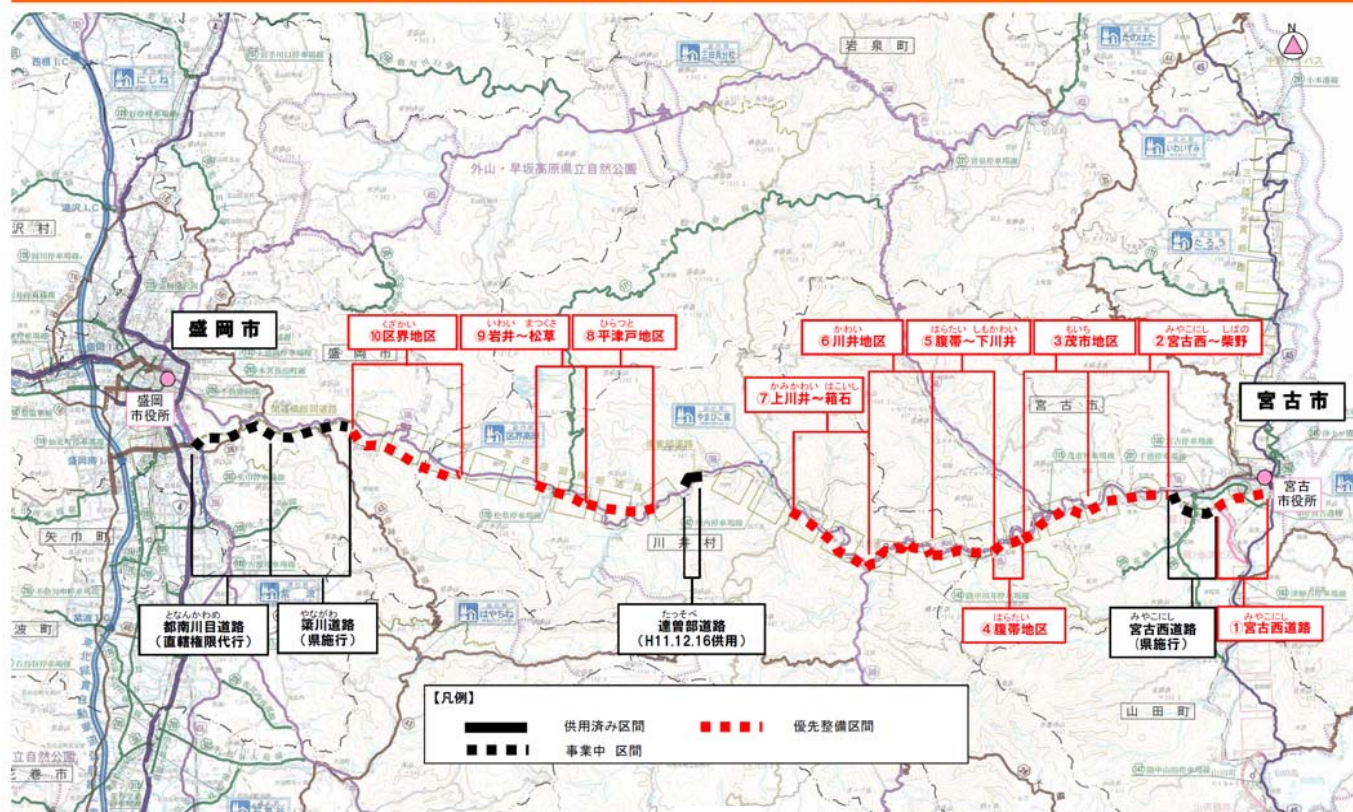
2. ルート決定の経緯について

6. 宮古盛岡横断道路に関する優先整備区間の具体化までの状況

- 東日本大震災復興構想会議において、地域活動を支える基盤強化として、太平洋沿岸と東北道を繋ぐ横断軸の強化について提言をいただいた
- 岩手県では、宮古盛岡横断道路の未事業化区間について、早期に整備方針の具体化を図るため、地元自治体の意見を聴きながら優先整備区間を確定する作業に着手し、9月7日に整備方針と概ねのルートを確認

【位置図】

宮古盛岡横断道路優先整備区間の位置図




2. ルート決定の経緯について

7. 優先整備区間の決定公表(500m幅の概ねのルートと整備方針を提示)

宮古盛岡横断道路優先整備区間 ③茂市地区



 概ねのルート範囲(500m幅)

概ねのルートと整備方針の考え方

【概ねのルートの考え方】

○ 線形が悪い区間をバイパスのルートで、それ以外の区間については、現道の線形を生かしたルートを考えています。

【整備方針について】

○ バイパスによる整備と現道改良により対応したいと考えています。

例: ③茂市地区

9月7日公表

3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

■ 三陸沿岸道路は従来、整備が進んでこなかったが、今回の東日本大震災において、**命の道**としての機能を発揮

① 平時に暮らしを支える …… 医療サービス、産業、観光

② 災害時に命を守る …… 避難、救命救急、復旧

■ 厳しい財政状況から**低コスト**の実現が必要

○ 6つの設計見直し

○ 低コストを実現しつつ、機能強化

○ 被災地復興のリーディングプロジェクト

3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

①強靱生の確保(ルートは津波浸水区域を回避 → 三陸縦貫自動車道は95%回避)

三陸縦貫道(釜石山田道路)

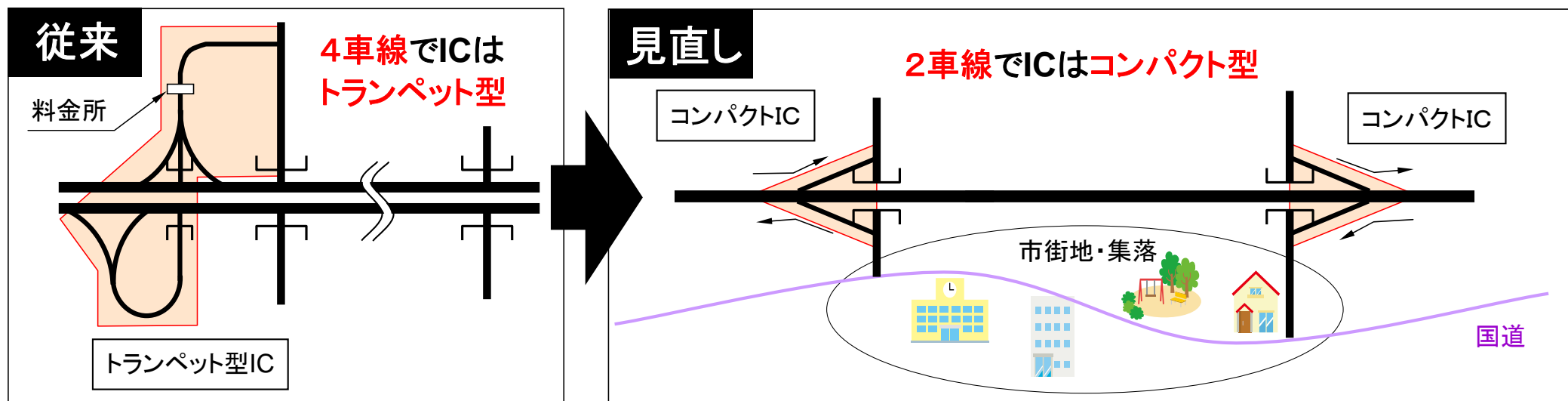


三陸縦貫道(山田道路)



3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

②低コストの実現(4車線・トランペット型IC → 2車線・コンパクト型IC)



③復興まちづくりの支援

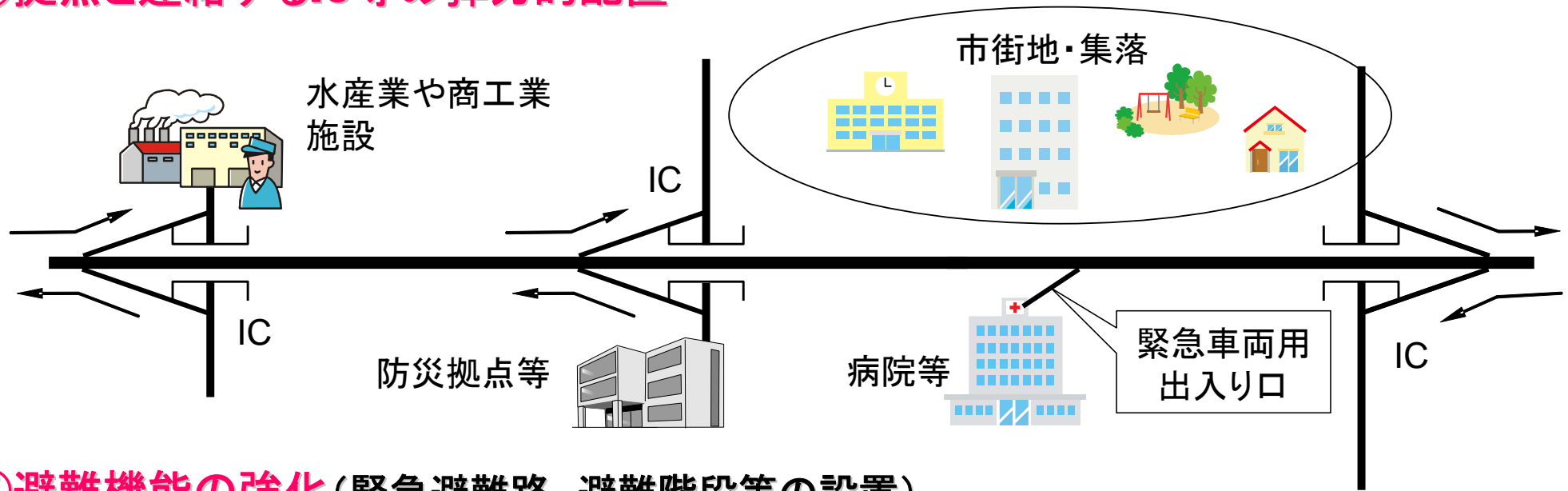
南三陸町の例

高台に計画されている居住ゾーン等とのアクセスに配慮



3. 「三陸沿岸道路」の新たな考え方について

④ 拠点と連絡するIC等の弾力的配置



⑤ 避難機能の強化 (緊急避難路、避難階段等の設置)



⑥ ICT (情報通信技術) による通行可能性把握 (ITSスポット等で走行速度等を収集)